



平成28年6月15日発行

日本大学医学部附属板橋病院

医療連携ニュース

メディカル・リンクージ vol 1

医療連携ニュース発刊にあたって

日本大学医学部附属板橋病院

病院長 平山 篤志

医療連携ニュース発刊に当たり一言御挨拶を申し上げます。
皆様には日頃から当院との医療連携について並々ならぬ御厚意をいただきありがとうございます。
今後なお一層のシームレスな連携を深めるために、医療連携ニュースを発行することになりました。
今後この医療連携ニュースを役立てていただければと思っております。

この医療連携ニュースでは当院の診療に関する最新のお知らせの他に当院での様々な取り組みや医師の紹介等も行う予定です。また、当院と医療連携の登録をくださっている地域の先生方についても御紹介をさせていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。



特定機能病院

日本医療機能評価機構認定病院

日本大学医学部附属板橋病院

〒173-8610

板橋区大谷口上町30番1号

TEL 03-3972-8111

URL <http://www.med.nihon-u-ac.jp>

ごあいさつ

医療連携センター長に就任して

高山 忠輝(循環器内科准教授)

連携医の先生におかれましては日頃より当院との医療連携に格別のご理解、ご配慮を賜り感謝申し上げます。また、何かとご不便をおかけし、不行き届きの点がございますことを心よりお詫び申し上げます。

私は、本年4月より、日本大学板橋病院の医療連携センター長を拝命いたしました。

当院の医療連携センターは、地域の医療機関との架け橋になるべく3年前に設置されました。当院は特定機能病院として高度な医療を提供できるように設備を拡充する一方で、がん・脳卒中、心疾患の地域連携に力をいれております。

最近では手術ロボットのダ・ヴィンチや美容形成外科領域のレーザー治療機器を導入し、低侵襲治療にも積極的に取り組んでおります。患者さんの治療に際して、入院時から医師のみならず、看護師・薬剤師・栄養士をはじめ医療連携センターの支援担当者も加わり多職種参加のチーム医療に取り組んでおります。平成25年11月より、当センターでは、かかりつけ医の先生方からの患者さんのご紹介、あるいは当院からの逆紹介を円滑に行えるように医療連携医制度を取り入れ、運用を始めました。連携医の先生方から、通常診療の紹介受診はもとより、救急患者のご依頼に関しては、各診療科に救急医長が対応しております。また、診療科に迷われるような症例に関しては、当番救急医長が対応いたしますので、ご遠慮なくご相談ください。休日・夜間には、各診療科の当直医・診療科選択のご相談は管理当直医師が対応いたしますので24時間体制で連携医の先生からの救急患者さんのご相談に関してサポートさせていただきます。さらに、多くの診療科では初診の患者さんの診療枠を確保して、電話予約システム(専用電話)も導入しており好評を得ております。病院ホームページでは、外来診療担当医表は一般ページに、また、連携医の専用サイトには当番救急医担当表を掲載しております。さらに、連携医専用のメール受付窓口を準備しておりますので、忌憚のないご意見・ご要望などをお寄せいただければ、今後の医療連携に役立たせてせたいと思います。

もちろん、返信をお急ぎでないようでしたら、メールで受診相談も対応させていただきます。



ます。連携医の先生におかれましては、医療連携センターのページにご注目頂ければ幸いです。今後、病院主催の医療連携懇親会、連携センター主催のセミナー、各診療科主催の講演会開催のご案内に関しましても随時お知らせできるようにしていきます。

医療連携センターではスタッフ一丸となって、患者さん本位の医療連携を目指してまいります。私ども、日大板橋病院連携センターをご利用いただき、少しでも連携医の先生方の日常診療にお役に立てていただければと思います。

今後とも当院医療連携センターをよろしくお願いいたします。

医療連携センターメールアドレス
med.communication@nihon-u.ac.jp

医療連携センターについて

医療連携センター

課長補佐 古屋 克己(精神保健福祉士)

医療連携センターについてご紹介いたします。

従来独立した部署であった医療連携室、在宅療養支援室、地域移行支援センター、医療福祉相談室を医療連携センターというひとつの部署に統合し連携医の先生方や地域や患者さんのニーズに応えるべき組織としてスタートいたしました。

スタッフはセンター長(医師1名)、看護職8名(師長補佐1名、主任1名、スタッフ6名の内訳は保健師3名、看護師5名)、医療連携事務職6名(課長補佐2名うち1名は精神保健福祉士、事務スタッフ4名)及び医療福祉相談室4名(主任2名、スタッフ2名の内訳は社会福祉士・精神保健福祉士3名、精神保健福祉士1名)で構成されています。

前方連携は主に事務職が担当し、後方連携は主に看護職が担当しております。

医療福祉相談室は相談業務が主ですが退院支援には協働してあたっております。

本年4月より新センター長を迎え、また医療連携事務スタッフに専任のソーシャルワーカー(精神保健福祉士)を配置しセンター内に看護職とソーシャルワーカーがともにいるメリットを生かし、より一層の良いケアを目指した連携業務の強化に努めていきたいと思っております。

また、当院の様々な医療情報を連携医の先生方への情報発信の拠点としての機能も担っていきたいと思っております。

連携医の先生方と手を携えて地域と患者さんへの心のこもった医療を目指していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

ホームページ内「医療連携医専門ページ」のご案内について

当院の「日本大学医学部附属板橋病院連携医制度」にご登録いただきました医療機関の皆様には「医療連携医専門ページ」をご利用いただくことができます。救急担当医予定表の閲覧とご意見・ご相談にご利用いただけます専用アドレスもご用意しておりますので、下記のユーザー名・パスワードを入力してログインしていただき、ご利用ください。

【操作方法】

1. 日本大学医学部附属板橋病院のホームページ



2. 医療連携医の先生方へ をクリック



3. ユーザー名 : パスワード : を入力しログインする



① 救急担当医予定表の閲覧

② 専用アドレスの使用

med.communication@nihon-u.ac.jp



〈 お問い合わせ先 〉

日本大学医学部附属板橋病院

医療連携センター

TEL 03-3972-8111 (代)

内線 3184

FAX 03-3972-0018

受付時間

平日 午前8:30～午後4:30

土曜日 午前8:30～午後2:00

【編集後記】 念願の連携ニュースの発行をすることが出来ました。ホームページもリニューアルをいたしましたので、ぜひご覧頂き併せて当院を身近に感じて頂ければ幸いです。このニュースレターが連携医の先生方と私どもを結ぶ一助になればと思っております。私ごとですが4年ぶりに板橋病院に戻り、このニュース発行が最初の仕事となりました。不慣れなことでご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

発行責任者 高山 忠輝

古屋 克己